重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	路上駐車がないなど、交通マナーが守られている		年度	平成28年度
			責任部長	企画部長
			主担当課長	地域ふれあい課長
施策名	交通ルールが守られているまちをつくる	No.19	関係課	―

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標		指標のめざす方向	現状値	実績値					目標値
			H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
			H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
交通マナーを守っていると思う人の割合（%）		↗	96.5	96.6	97.0	97.0	97.1	96.6	97.1
			96.6	97.2	97.5	97.7	97.0		97.8
交通事故による死傷者数および交通事故（人身事故）件数	①死傷者数（人）	↘	―	―	―	―	―	―	―
			3,343	3,193	3,406	3,131	2,830		3,031
	②交通事故（人身事故）（件）		―	―	―	―	―	―	―
			2,701	2,597	2,713	2,537	2,340		2,445
放置自転車の撤去台数		↘	―	―	―	―	―	―	―
			―	2,438	1,583	1,085	901		1,738

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

愛知県は平成15年度以降13年連続交通死亡事故ワースト1が続いており、本年も6月1日現在ワースト1となっている。愛知県は車の保有台数が全国1ということもあるのだが、交通ルールを守らず発生する事故が多いのも現状である。その中でも高齢者の歩行中、自転車乗車中による無理な横断が原因の事故が多発した。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	A 改善傾向	交通マナーを守っていると思う人の割合はほぼ横ばいだが、交通事故による死傷者数および交通事故（人身事故）件数は減少し目標値をクリアした。また、放置自転車の撤去台数も順調に減少していることから改善傾向にあるといえる。

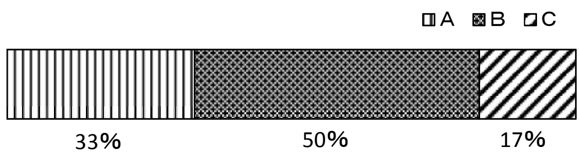
評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	
次年度の改善計画	

＊＊

市民からみた計画の進捗状況

・A判定（改善傾向）　33 %
・B判定（停滞）　50 %
・C判定（悪化傾向）　17 %